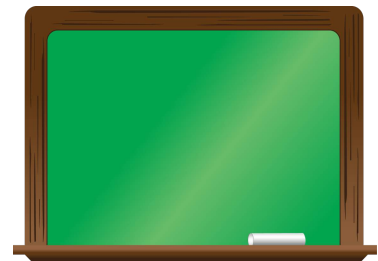


# 第2回協議会を開催しました



野津原中学校区  
適正配置地域協議会  
だより

第2号  
平成26年9月



七月三十一日（木）の午後七時から、野津原市行政センター大会議室において、第二回の協議会を開催しました。第二回の協議会では、まず事務局から統合までの具体的な手順や、スケジュールなどについて説明がありました。その中で、今後の協議会の開催スケジュールについては、2ヶ月に1回程度のペースで開くことが確認されました。次に、項目ごとに整理された各校区の事前説明会の質疑応答について事務局から説明を行いました。委員からは、隣接校選択制に関する質問や、地域コミュニケーションの対応策、また統合の必要性などについての質問等が出されました。

また、統合についてそれぞれ考えた出し、納得した上で進めたい地域住民がどう思ったかを、保護者や地域の意見なども出さなかったか、という意見は二面以降に掲載しています。こうした意見を受けて、次回の協議会までに各校区において、住民の方や保護者の方の統合について、おの考えを聞いておくことになり、また、今後の具体的な協議内容などについては、会長・副会長・事務局で協議のうえ、次回の協議会にお示しするということとで閉会となりました。

## 次回は十月二日（木）開催

第三回の協議会は、十月二日（木）、午後七時から午後八時三十分まで、野津原市行政センター大会議室で開催します。委員以外の地域の皆様にも会議の様子を実際に見て、聴いていただき、適正配置の取組を進めてまいります。

第2回協議会における主な意見を掲載しています。  
(発言内容については、紙面の都合で要旨のみとしています。ご了承ください。)

○は委員の発言 ●は事務局の発言

### 【統合までの手順についての意見】

- 碩田中学校の統合の合意事項について確認したい。
- 碩田中学校の場合は、「碩田中学校区の3小学校を統合した上で、新設校を創設する」「新設校は平成29年4月の開校を目標とする」「新小学校の位置として荷揚町小学校地・中島小学校地・碩田中学校地の3候補地を併記する」の3点が合意事項として挙げられる。



### 【年間スケジュールについての意見】

- 資料に年度ごとのスケジュールが書いてあるが、これは今日決めるわけではないということでしょうか。
- 前回、いつ統合するというのが決まったとき、どういう風に進めていくのかという話が出たので、26・27・28・29年の各年に統合が合意された場合どう進めていくかを記載している。統合の年については、今日決めなければならないということではない。



### 【校区説明会の質疑に係る意見】

#### ＜統合について＞

- 野津原地区の今の学校教育に問題があるのか。ただ、小学校教育の理想や、市政の都合だけで統合をした方が良いと言っているだけの様な気がしている。何のために統合をするのか、統合の必要性について話を聞きたい。
- この地域の適正配置の一番の目標は「複式学級の解消」である。小規模校を否定するわけではないが、人数の面で体育や授業でのグループワークなどいろいろと制限されてしまうことがあるのも事実である。統合をしてもクラス数は増えないだろうが、学年の人数が増えることでできることも変わってくると思っているので、そういった観点から統合については考えている。
- 統合すると9年間友達と一緒に、もし途中で仲違いをしたらクラス替えもなく逃げ場がないということで不安を抱える子がいる。このように、子どももいろいろな思いを抱えていると思う。ここに来られている保護者の方々は、同じ学校の仲間から統合に関していろいろな話を聞いていると思う。この会は統合を前提にあると思うが、統合に対しての考えをしっかりと理解して次のステップへ行くべきではないかと思うので、皆さんの意見を聞かせてもらいたい。
- 今の野津原の状況からするとクラス数は多くても2クラスである。複式を無くすという一つの目的からすると、やはり統合はする方がよいのではと思う。
- 少人数だとできないことがあるといわれたが、東部小だと人数がいるのでそのようなことをあまり感じない。実際に少人数の学校に子どもを通わせている方に、何か感じることがあればお聞きしたい。
- ドッジボールなどは全校でやることになるので、どうしても低学年に合わせる形になり、5・6年生は思いっきりできず物足りないという話を子どもから聞いている。
- 図工や体育は二学年ずつ合同で授業をしているが、他学年の子どもと一緒にいるからいやだという話は聞いたことがない。むしろ担任とは別の先生が授業をしてくれるということが、子どもには嬉しいようである。また、人数が少ないからどうこうという話も聞かないので、親が心配しているほどに子どもは感じていないのかな、といった状況である。

○人数が少ないことでできないことも確かにあるが、逆にその分縦の繋がりが強く上級生を見て成長するとか、下級生のお世話が上手にできるとか、そういったところでは非常に豊かに育ったのではと思っている。

○統合について、何が不安で、ネックになるのか、どうしたら解決できるか、そういったことを各校区でもう少し話し合ってみて、先に進むというのがいいのではと思う。この場で意見が言いにくくなっているのも、自分の意見だけではという気持ちがあるからだと思う。一度校区の人にどう考えているか聞き、その結果出た意見をこの場に持ってくるようにしたらいいかと思う。

●各校区で保護者の方・周りの方と話をすることに、じっくりと時間をかけていくことが重要だと思っている。そういった方向性で会長さん方と進め方について相談させていただきたいと思う。

#### <中学校について>

○この先、もしかすると中学校もなくなる可能性がある。そうさせないためにも地域の方がもっと参画できるような会を作った方がいいと考えている。

●基本計画の中では、中学校区を再編するということは考えていない。本校区のお子さんたちが中学校に上がっていただくことを目指して、本校区の教育の充実を図っていきたいと考えている。

#### <学区外就学等について>

○隣接校選択制や学区外就学で校区外の学校に行く子どもが増えたため、野津原中学校の入学者が減少している。昨年は、保護者説明会等を開いていただいたため、ほとんどの子どもが野津原中学校へ入学したが、来年度入学する子ども達に対して何か具体的な対応策を考えているのかを聞きたい。

●こうした制度は保護者の選択の幅を広げるもので、その中でどういった選択をしていくかはこちらが規制できるものではない。対策の妙案があるわけでもないが、野津原地区だけ隣接校選択制は無しにするとか、学区外就学を認めないということもできない。そういった中で、本来の制度の趣旨を説明させていただきながら、地元に残っていただけるような取組を皆様と一緒に考えさせていただきたいと思っている。

○隣接校選択制等で校区外の学校に子どもが通っている保護者の方の負担はどのようなものか。また、校区外に通う子どもは目標達成ができたのか。

●お子さんが他の校区に行かれた方に、直接負担がどうかということ聞いてはいない。でも、学区外就学で、たとえば部活動を理由にして校区外へ行ったお子さんについては、きちんとその部活動に属しているかを必ず調査している。

#### <地域コミュニティについて>

○小学校は地域コミュニティの核であり、その小学校がなくなるということに対して、対応策がどうなっているのか不安を感じる。

●今市小学校区はすでに小学校がなくなっているが、なくなったからといって何もできないというわけではない。今後この校区は一つの小学校区になるが、その中で実際にどういった地域コミュニティを作っていくかは、自治会などで話し合っていたければと思う。

○自治区と校区の構成に対して、今は東部・中部・西部・今市と分かれて消防団や補導員などが組織されている。しかし、統合したら地区が一つになってしまう。野津原は広いため、一つにしてしまうとそういった活動が厳しくなると思うので、小学校の統合と自治区のあり方を並行して考えるような協議が好ましいと思う。

○小学校の校区と自治区は関係がないので、仮に東部小学校がなくなったとしても東部小学校区という自治区はある。そういったことは自治区で考えればいいのではないか。

○「行政はどう考えているか」「行政は何をしてくれるのか」ではなく、自分達は何ができるかということから考えて意見を出すべきだ。たとえば、小学校がなくなった後に校区公民館を立ち上げ、それぞれの校区で運営するとかいったこともできると思う。そういった考えを持った上で、協議をすべきだと思う。



## 【その他】

- 統合について校区の方・住民の方と話し合っ「統合はしない方がいい」となった場合、統合の話はなくなるのか。
- 教育委員会では、現在及び将来の子ども達にとって、より豊かな教育環境を創造することを第一義に、適正配置基本計画を策定した。その中で今後、皆様方と自分に意見交換を行うために地域協議会を立ち上げていただいた。その規約の中に「統合を目的とする」といった内容があり、現在協議会が設立されたということは、その方向で進んでいこうとしているということと考えている。ただ、これは統合を早く進めなければならないということではない。統合に向けて時間をかけてじっくり話をしていくことに問題はないので、確認を取りながら協議を進めていっていただきたい。



## 第2回地域協議会での確認事項

- ◆第3回の地域協議会を10月2日(木)19:00～20:30、野津原市民行政センター大会議室で開催することを確認した。
- ◆2ヶ月に1回程度のペースで協議会を開くことを確認した。また、第4回の地域協議会を11月27日(木)、第5回の地域協議会を2月5日(木)、いずれも19:00～20:30、野津原市民行政センター大会議室で開催することを確認した。
- ◆今後の具体的な協議の内容などについては会長・副会長・事務局で協議し、次回お示しすることを確認した。
- ◆委員の方が保護者や地域の方々と相談し、次回の協議会で意見を出してもらうことを確認した。

### <編集後記>

協議会では、協議会の様子を広くお知らせするため、協議会だよりを発刊するとともに、市のホームページにおいても会議の要旨などを公開しています。  
今後とも、協議会へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 野津原中学校区適正配置地域協議会だより「第2号」

発行:平成26年9月  
発行者:野津原中学校区適正配置地域協議会  
事務局:大分市教育委員会教育企画課  
連絡先:(住所) 大分市荷揚町2-31  
(TEL) 097-537-5903(直通)  
(E-mail) kyoikukikaku@city.oita.oita.jp